

東京外国為替市場委員会 第 142 回会合 議事録

開催日時 2011 年 5 月 24 日 13:00～14:30
場 所 日本銀行本店 新館 9 階中会議室
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
副 議 長 梨本 忠彦
書 記 竹内 淳
出席委員 25 名

I. 委員の任期満了・再任と退任・新委員の選任について

中野副議長より、星野議長の任期が満了することが報告されました。星野議長から、議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

また、小松委員から退任の意思が示され、了承されました。小松委員の後任として、以下の方から委員への立候補届けがあったとの報告があり、立候補者による所信表明、推薦人による推薦を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。

福島 亮一（みずほ銀行）

II. 準委員の交代について

星野議長より、葛原準委員と古賀準委員が退任し、森氏と井出氏が新任となる旨が報告されました。

III. 小委員会報告

1. 運営小委員会

星野議長より、決済小委員会の名称を、海外の外国為替市場委員会に倣って、オペレーション小委員会と変更してはどうかとの提案があり、委員会では了承されました。

2. 教育小委員会

好川小委員長より、8 月 29 日（月）にフォレックスセミナーを開催し、講師として、野村證券の田中泰輔氏、パークレイズ・キャピタルの山本雅文氏を招聘する予定である旨報告

がありました。

3. 法律問題小委員会

今西小委員長より、ドッド・フランク法について意見交換を行った旨報告がありました。小委員会において、東京市場へのインプリケーションについて、今後も検討を続けていくとの意向が示されました。

4. NDF 慣行整備小委員会

廣田小委員長より、対円 NDF 取引の **Fixing** レート算出に用いるドル円レートの取引慣行化に関する議論の進捗状況の報告があり、「東京時間のアジア通貨は、各通貨の **Fixing** 公示時間に対応した JPNU、欧米時間の欧州・ラ米通貨は、**WMR Closing** (0 時) を採用してはどうか」との提案がありました。委員からは、取引慣行化の推奨が、投資家にどのようなメリットをもたらすのかといった点を再検討してはどうかとの指摘があり、この点を含めて、小委員会で再度議論することになりました。

5. E・コマース小委員会

高木小委員長より、3 月 17 日 (木) に円相場が急騰した際に、証拠金取引で大量のロスカットが執行され、証拠金の未集金も発生したことに鑑み、外国為替市場における市場・流動性リスクを軽減するための改善策について、次回以降の委員会で議論したいとの報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (5月24日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○竹内 淳	(日本銀行)
運営小委員長	○井上 英明	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリングリソースジャパン)
教育／Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
	○福島 亮一	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
NDF 慣行整備小委員長	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハーロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	○前波 弘	(野村証券)

<準委員>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
○森 直樹	(三菱東京 UFJ 銀行)
○古賀 麻衣子	(日本銀行)
○井出 穰治	(日本銀行)

<オブザーバー>

○河西 修	(財務省)
-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。